

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2024-25 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



創立:1963年 3月 22日

会 長 小林又次郎

例会場:パレスホテル大宮

幹 事 岡部 勉 第2850例会 2025/02/17

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 島袋 祥子

発行日 2025/03/03

会長挨拶

会長 小林 又次郎

敬愛するロータリアンの皆さん、今日もよろしくお祈りします。

先週、ラオスへ行って参りました。

11日から16日までの日程で、機内2泊現地3泊でしたが岡部幹事と松本国際奉仕委員長の微細にわたるアテンドのおかげで、海外渡航歴の浅い私としてはとても苦勞無く旅することができました。

今回は、私ども大宮西 RC がかねてより支援させていただいております、ラオフレズ小児病院が設立10周年を迎えるにあたり記念セレモニーを催されるということでご案内をいただき、これに応じて参列させていただきました。

ラオスについては、皆さんもご存知と思いますが長く王朝として栄えた東南アジアの国です。19世紀末のフランス植民地の時代から第二次大戦後の民族独立の動きを経て現在の社会主義国家として独立したものです。

社会主義国家ですが、訪れてみますと敬虔な仏教信仰により社会が形成されていることがわかります。

メコン川が国土の中央を流れ、3つの旧王朝都市を中核にインドシナ半島中央に縦長に位置しています。

首都ヴィエンチャンの北200kmに私どもが目指すアンパバーンがあります。驚くのは車と小型バイクが溢れていることです。ティクティクという簡便車両も走っています。右側走行というルールはありますが、基本的にセンターラインはありません。停止線もありません。信号機って何?という世界です。

昭和初期の日本に車社会が突如割り込んできた感じですが。路上駐車が延々とある狭い道路を車両が結構なスピードで交叉しますが事故はないようです。

農業立国と思われませんが、観光も大きな柱です。ランパバーンの中心地に1kmに渡ってナイトマーケットと称する露店商が並びます。百店舗二百店舗



ではきかないでしょう。数限りない観光客が行き交い民芸品や飲食に金を落とします。これが毎晩続きます。驚くのは、昼間になって元の街並みに戻り、普通の商店の時間帯までに昨夜の雑踏でたははずのゴミや汚物が全く無くなることです。露店による夜中の掃除と既設店舗の健気な朝掃除の賜物です。

朝の風物というとお坊さん方の托鉢の行列です。本来は各民家等を訪ね歩いたものかと思いますが、今は観光客を中心とした喜捨する側が路上に陣取り、お坊さん方が鉢を持って道路を渡り歩きます。喜捨はもっぱら観光客のようです。10歳未満と思われる子ども坊さんを含む100人ほどのお坊さん方の姿は圧巻です。

さて、肝心のラオフレズ小児病院の話ですが、セレモニーは淡々と進みました。と申しますのは、セレモニーは病院施設の一角で執り行われましたが、休診では無く、どんどんと外来患者は来院しますし入院患者の措置は続けなければならないからです。申し訳ないほどの多忙の中でセレモニーを企画実行して下さった病院の皆さんに頭が下がりました。

今回の催しに参加させていただきいくつか感じたことを申し上げます。

ラオフレズ小児病院の施設は、井津建郎という写真家が創設しました。彼は現在75歳ですが二十代の頃にアンコール遺跡などで写真を撮る旅を続け、僅かなお金が無いばかりに死んでいく子供を目の当たりにして何とかできないのか、何とかしたいと思い非営利法人の設立に至ったそうです。

彼は先ずカンボジアで病院を設立し、その7年ほど後にラオスで小児病院の設立に至りました。カンボジアの病院は、創設後10年でカンボジア人の運営に譲渡したそうです。

ではラオスの場合はどうかと申しますと、とても第三者に委託したり譲渡したりできる状態では無いようで、この度ラオス政府と土地の賃貸を含む10年契約を更新したそうです。

尽誠新望 =あなたの参加でクラブを活性化しよう=

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

